

2020年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年5月14日

上場会社名 株式会社マミーマート 上場取引所 東
 コード番号 9823 URL http://www.mammymart.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岩崎 裕文
 問合せ先責任者 (役職名) 財務部長 (氏名) 岩本 潤 TEL 048 (654) 2514
 四半期報告書提出予定日 2020年5月14日 配当支払開始予定日 2020年6月15日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年9月期第2四半期の連結業績（2019年10月1日～2020年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年9月期第2四半期	58,833	7.0	1,827	43.2	2,039	36.3	1,276	32.7
2019年9月期第2四半期	54,973	4.9	1,275	△30.7	1,496	△27.1	962	△28.0

(注) 包括利益 2020年9月期第2四半期 1,304百万円 (47.8%) 2019年9月期第2四半期 883百万円 (△34.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年9月期第2四半期	119.56	—
2019年9月期第2四半期	89.14	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年9月期第2四半期	56,629	24,692	43.6	2,319.97
2019年9月期	55,119	23,871	43.3	2,209.43

(参考) 自己資本 2020年9月期第2四半期 24,670百万円 2019年9月期 23,850百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年9月期	—	18.00	—	18.00	36.00
2020年9月期	—	18.00	—	—	—
2020年9月期(予想)	—	—	—	18.00	36.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年9月期の連結業績予想（2019年10月1日～2020年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

2019年11月14日公表の連結業績予想に対し、概ね好調に推移しておりましたが、国内外での新型コロナウイルス感染症の拡大により、消費者の購買行動の変容、企業の経済活動の停滞が起きており、今後も感染症の拡大の状況や経済活動の再開時期など不確定要素が多く、現時点ではその影響を見極めることができず、当社業績に与えるインパクトを計測することが非常に困難な状況となっております。

そのため、2020年9月期の通期連結業績予想について一旦取り下げ、開示が可能となった時点で速やかに公表いたします。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年9月期2Q	10,796,793株	2019年9月期	10,796,793株
② 期末自己株式数	2020年9月期2Q	162,955株	2019年9月期	1,955株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年9月期2Q	10,679,838株	2019年9月期2Q	10,794,842株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成されたものであります。実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における小売業界を取り巻く経営環境は、2019年10月に実施された消費税増税の影響による消費者マインドの冷え込み、業種・業態を超えた競争の激化、及び人手不足による人件費の増加、物流コストの上昇等、厳しい状況が続いております。加えて2020年に入ってから新型コロナウイルスの世界的な大流行により、先行きの見通せない極めて不透明な状況が続いております。

このような環境下ではありますが、当社グループでは食のライフラインを守るという使命を果たすため、「Enjoy Life!」を基本方針として、「お客様に満足いただける持続的な成長店舗作り」をメインテーマに、「基盤の整備」、「人財育成」、「生産性改善」、「商品力強化」の4つを重点項目に施策を進めてまいりました。

特に、店舗の改装や修繕によりお客様がお買物をしやすい売場を作り、より良い商品をお買い求めいただきやすい価格で提供することに努めてまいりました。

[基盤の整備]

お客様が買い物をしやすい環境、従業員が働きやすい環境づくりの一環として、前期から継続して、通常の店舗内外装の修繕に加え、作業場、休憩室、トイレ等の改修を実施しました。

また、各店舗の什器備品整理・統一の計画策定、全部署の業務棚卸を進めたほか、セミセルフレジの導入店舗を増やすなど、業務効率化・人手不足解消に努めてまいりました。

[人財育成]

「M3活動」を通して、自ら考え行動する集団の形成に取り組んでまいりました。また、社内インフラを活用し、各店舗からの好事例を共有することで、従業員の食と健康に関する知識を深め、お客様と積極的に対話できる人財育成を進めました。

[生産性改善]

業務見直しとマニュアル改定を進めており、ムダ・ムリ・ムラの排除や情報の整備等による作業効率の改善を進めてまいりました。

[商品力強化]

独自性向上のため、当社グループのオリジナル商品の売上構成拡大を図り、結果として収益力も向上しました。

本年度も一般社団法人全国スーパーマーケット協会主催の「お弁当・お惣菜大賞2020」にて、全国5万点を超えるエントリーの中から当社開発商品が最優秀賞2品、優秀賞2品、入選2品の入賞を果たしました。これで7年連続での受賞となります。

設備投資としましては、(株)マミーマートにおきまして、2020年3月に生鮮市場TOP東松山店（埼玉県東松山市）を新規オープンいたしました。また、1店舗を閉鎖いたしました。当四半期末の店舗数は、温浴事業・葬祭事業を含め78店舗であります。

この結果、当第2四半期連結累計期間の連結営業成績は、売上高58,833百万円（前年同期比7.0%増）、営業利益1,827百万円（同43.2%増）、経常利益2,039百万円（同36.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益1,276百万円（同32.7%増）となりました。

セグメント別の営業の状況は以下のとおりです。

[スーパーマーケット事業]

当第2四半期連結累計期間は、売上高58,601百万円（前年同期比7.1%増）、営業利益1,817百万円（同45.4%増）となりました。

[その他の事業]

売上高232百万円（前年同四半期比13.3%減）、営業利益9百万円（同62.1%減）となりました。

(注)「Enjoy Life!」は、お客様に毎日の食生活を通じて健康で充実した人生を楽しんでいただくことを目的とした、当社グループ独自のコンセプトです。

「M3」とは、My Mami Martの略で、自分たちの会社をより良い会社にしようとする、全従業員参加型のプロジェクトです。

(2) 財政状態に関する説明

①資産・負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末より1,509百万円増加し56,629百万円となりました。これは主に、リース資産の増加によるものであります。

負債は、前連結会計年度末より687百万円増加し31,936百万円となりました。これは主に、リース債務の増加によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末より821百万円増加し24,692百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による利益剰余金の増加であります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は2,040百万円(前連結会計年度末比896百万円の減少)となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動により獲得した資金は2,830百万円(前年同四半期は1,495百万円の収入)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益の計上によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動の結果支出した資金は1,132百万円(前年同四半期は1,415百万円の支出)となりました。これは主に、有形固定資産の取得によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動により支出した資金は2,593百万円(前年同四半期は219百万円の支出)となりました。これは主に、借入金の返済によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年11月14日公表の連結業績予想に対し、概ね好調に推移しておりましたが、国内外での新型コロナウイルス感染症の拡大により、消費者の購買行動の変容、企業の経済活動の停滞が起きており、今後も感染症の拡大の状況や経済活動の再開時期など不確定要素が多く、現時点ではその影響を見極めることができず、当社業績に与えるインパクトを計測することが非常に困難な状況となっております。

そのため、2020年9月期の通期連結業績予想について一旦取り下げ、開示が可能となった時点で速やかに公表いたします。

2020年9月期 通期連結業績予想数値の修正(2019年10月1日～2020年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	111,600	1,658	2,139	1,100	103.20
今回修正予想(B)	—	—	—	—	—
増減額(B-A)	—	—	—	—	—
増減率(%)	—	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 (2019年9月期)	108,945	1,642	2,118	697	64.59

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,936	2,040
売掛金	1,289	1,915
商品	2,749	2,587
貯蔵品	15	11
その他	1,373	1,597
流動資産合計	8,364	8,151
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	11,779	11,987
機械装置及び運搬具(純額)	171	176
土地	20,868	20,868
リース資産(純額)	321	2,013
建設仮勘定	747	627
その他(純額)	1,254	1,489
有形固定資産合計	35,142	37,162
無形固定資産	132	129
投資その他の資産		
投資有価証券	226	161
長期貸付金	240	224
差入保証金	7,481	7,264
賃貸不動産(純額)	366	366
繰延税金資産	2,336	2,323
その他	829	843
投資その他の資産合計	11,480	11,184
固定資産合計	46,755	48,477
資産合計	55,119	56,629

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	6,220	7,268
短期借入金	6,540	870
1年内返済予定の長期借入金	4,086	5,086
リース債務	158	243
未払費用	2,623	2,237
未払法人税等	341	775
賞与引当金	468	469
資産除去債務	98	28
その他	663	768
流動負債合計	21,200	17,747
固定負債		
長期借入金	4,864	7,510
リース債務	1,182	2,731
長期預り保証金	1,513	1,448
転貸損失引当金	16	4
役員退職慰労引当金	333	324
退職給付に係る負債	1,259	1,288
資産除去債務	836	839
その他	42	40
固定負債合計	10,048	14,188
負債合計	31,248	31,936
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,660	2,660
資本剰余金	2,861	2,861
利益剰余金	18,407	19,490
自己株式	△2	△292
株主資本合計	23,926	24,719
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△20	△1
退職給付に係る調整累計額	△55	△48
その他の包括利益累計額合計	△75	△49
非支配株主持分	20	22
純資産合計	23,871	24,692
負債純資産合計	55,119	56,629

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)
売上高	54,973	58,833
売上原価	40,550	43,506
売上総利益	14,422	15,327
営業収入	680	671
営業総利益	15,102	15,999
販売費及び一般管理費	13,826	14,171
営業利益	1,275	1,827
営業外収益		
受取利息	27	24
受取配当金	4	4
不動産賃貸料	131	112
受取手数料	106	108
その他	92	84
営業外収益合計	362	334
営業外費用		
支払利息	21	20
不動産賃貸費用	117	100
その他	3	1
営業外費用合計	142	122
経常利益	1,496	2,039
特別利益		
固定資産売却益	1	—
資産除去債務戻入益	—	18
特別利益合計	1	18
特別損失		
固定資産除却損	0	6
投資有価証券評価損	—	76
特別損失合計	0	83
税金等調整前四半期純利益	1,496	1,973
法人税等	532	695
四半期純利益	964	1,278
非支配株主に帰属する四半期純利益	2	1
親会社株主に帰属する四半期純利益	962	1,276

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)
四半期純利益	964	1,278
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△82	19
退職給付に係る調整額	1	7
その他の包括利益合計	△81	26
四半期包括利益	883	1,304
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	880	1,303
非支配株主に係る四半期包括利益	2	1

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,496	1,973
減価償却費	847	845
賞与引当金の増減額 (△は減少)	85	1
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	14	△8
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	50	39
転貸損失引当金の増減額 (△は減少)	△19	△12
受取利息及び受取配当金	△31	△28
支払利息	21	20
固定資産売却損益 (△は益)	1	—
固定資産除却損	0	6
資産除去債務戻入益	—	△18
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	76
売上債権の増減額 (△は増加)	△88	△625
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△68	166
未収入金の増減額 (△は増加)	30	△103
仕入債務の増減額 (△は減少)	△269	1,047
未払費用の増減額 (△は減少)	66	△426
その他	3	114
小計	2,142	3,069
利息及び配当金の受取額	5	4
利息の支払額	△22	△19
法人税等の支払額	△629	△261
法人税等の還付額	—	36
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,495	2,830
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,578	△1,108
無形固定資産の取得による支出	△29	△20
貸付けによる支出	△2	△2
貸付金の回収による収入	17	17
差入保証金の差入による支出	△46	△206
差入保証金の回収による収入	249	264
保険積立金の積立による支出	△28	△29
資産除去債務の履行による支出	—	△51
その他	3	2
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,415	△1,132
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	2,300	△5,670
長期借入れによる収入	—	6,000
長期借入金の返済による支出	△2,333	△2,353
リース債務の返済による支出	△78	△86
自己株式の取得による支出	△0	△289
配当金の支払額	△107	△194
財務活動によるキャッシュ・フロー	△219	△2,593
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△139	△896
現金及び現金同等物の期首残高	5,101	2,936
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,962	2,040

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2019年11月14日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定に読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき自己株式を取得することについて決議し、第1四半期連結累計期間に次のとおり実施いたしました。なお、当該自己株式の取得は2019年11月15日をもって終了しております。

1. 自己株式の取得を行った理由

企業価値及び株主価値向上について継続的に検討を行っており、当該検討に基づく施策の一環として、経営環境の変化に対応すること、また、当社グループの成長を促進するためのインセンティブ・プラン等、機動的な資本政策を可能とするため。

2. 取得に係る事項の内容

(1) 取得した株式の種類	当社普通株式
(2) 取得した株式の総数	161,000株
(3) 株式の取得価額の総額	289,317,000円
(4) 取得日	2019年11月15日
(5) 取得方法	東京証券取引所の自己株式立会外買付取引 (ToSTNeT-3) による買付け

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2018年10月1日 至 2019年3月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント	その他 (注1)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	スーパーマー ケット事業				
売上高					
外部顧客への売上高	54,705	267	54,973	—	54,973
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	0	0	△0	—
計	54,705	267	54,973	△0	54,973
セグメント利益	1,249	26	1,275	—	1,275

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、温浴事業と葬祭事業であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント	その他 (注1)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	スーパーマー ケット事業				
売上高					
外部顧客への売上高	58,601	231	58,833	—	58,833
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	0	0	△0	—
計	58,601	232	58,833	△0	58,833
セグメント利益	1,817	9	1,827	—	1,827

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、温浴事業と葬祭事業であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。